

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社第22期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

村田 知彦

当期の概況

当期におけるわが国の経済は、好調な企業業績を背景として民間部門の設備投資が継続するとともに、個人消費も雇用・賃金の増加に支えられ回復基調で推移し、景気は緩やかな成長を持続してまいりました。

食品業界におきましては、社会環境の変化、消費者の「安心・安全」に関する意識の高まりなど、様々な変化への対応が求められ、また、外食業界におきましても、同業態はもとより中食業態との競争激化もあり、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は永続的な企業成長を図るため、前期まで維持してきた連結売上高100億円の継続を中断することになりますが、「もう一度ピエトロブランドの構築をする」との大きな方針の下で、食品事業におきましては、近年の価格政策を変更し、ブランド重視の政策を採り、レストラン事業におきましては、不採算店の8店舗を閉鎖するとともに、既存店の大幅な収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当期の売上高は94億11百万円（前期比6.8%減）となりましたが、利益面では、営業利益8億11百万円（前期比15.8%増）、経常利益7億61百万円（前期比19.3%増）、当期純利益3億73百万円（前期比111.4%増）となり、前期に比べ増益を果たすことができました。

今後の見通し

食品業界および外食業界におきましては、人口減社会の到来による総需要の伸び悩みの中で、流通業界再編の影響などによる企業間競争激化も予想され、さらに厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況下におきまして、当社グループは、「美味しいものづくり」を続け、「唯一無二」、「オンリーワン」商品を作り続けてまいります。

食品事業におきましては、ブランド確立に向けた取り組みを引き続き強化するとともに、天候不順・異常気象などに左右されない主カドレッシング以外のパスタソースなどの商品群の販売育成を強化してまいります。また、旬の食材に合わせた季節商品・健康を意識した商品などの開発に取り組んでまいります。一方、製造部門では、更なる衛生管理により品質保証体制を強化し、お客様の「安心と安全」の期待に応えてまいります。

レストラン事業におきましては、今後の方向として、ミオミオとカフェの商品の良いところを融合したもっとカジュアルな店舗の充実を図ってまいります。また、「ピエトロベジェ」の新しい展開を含めてレストランの新業態開発に引き続き取り組むとともに、野菜素材を含めたグランドメニューの提案をしてまいります。これらの諸施策を確実に実行し、業績の向上に邁進してまいります。

